

主な内容

2～5面

- ・一般質問
- ・常任委員会審査報告
- ・特別委員会中間報告

6面

- ・議決結果一覧
- ・陳情



▲令和3年7月27日に開通した府中スカイナード

令和3年第2回定例会

令和3年度府中市一般会計補正予算を可決

18議案を審議

今定例会で、市長から令和3年度一般会計補正予算（第2号）の議案が提出され、定例会初日の本会議で、採決の結果、賛成多数で可決されました。

補正額は、歳入・歳出それぞれ7億2152万円となり、これによって3年度一般会計予算額は、1107億2993万3000円となりました。今回の補正予算は、市新型コロナウイルス感染症対応方針に基づき、経済支援対策及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、4事業が計上されました。

補正予算の内容は、次のとおりです。

- 歳入
 - 国庫支出金：6072万円
 - 都支出金：2億9644万円
 - 繰入金：3億6436万円
- 歳出
 - 介護保険サービス事業所及び障害福祉サービス事業所等でのPCR検査などの実施経費に対する助成金：1580万円
 - 新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保に向けて、個別接種実施医療機関におけるワクチンの管理や受付対応に係る体制を拡充する経費：6072万円
 - 消費喚起商品券交付事業の助成に係る経費：6億4500万円

令和3年第2回市議会定例会は、6月3日から21日までの19日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、令和3年度府中市一般会計補正予算（第2号）など10件を審議した結果、可決9件、同意1件となりました。委員提出議案は1件を審議した結果、可決となりました。議員提出議案は4件を審議した結果、可決2件、否決2件となりました。また、陳情3件が審議されました。

意見書(要旨)

◎性的指向・性自認に基づく差別的解消を求める意見書
近年、性的少数者に対する認知が大きく進む一方、日常生活や社会生活においては、性的指向・性自認を理由とする差別的な取扱いを受けることが少なくないため、多くの当事者が本来の自分を隠して生きている現状がある。

本市では、パートナーシップ宣誓制度を導入し、市民や事業者の理解が広がるよう取り組んでいるが、市の取組を一層促進するためには、国による推進と環境整備が必要であると認識している。

よって、本市議会は政府に対し、性的少数者が日常生活や社会生活において、差別的な取扱いを受けることのないように適切な措置を講じるとともに、社会全体が性の在り方の多様性を受け入れていくことを目指し、性的指向・性自認に基づく教育と理解の増進を図り環境整備に取り組むよう、強く要望する。

◎米軍府中通信施設の速やかな返還、返還後の移譲を求める意見書

市北東部に位置する府中基地跡地留保地については、令和2年2月策定の「府中基地跡地留保地利用計画」において、留保地の持つポテンシャルを最大限に発揮し、多種多

様な行政ニーズに応えつつ、将来にわたり、市全体の魅力の向上等に寄与する土地利用を図る旨の基本的な考え方が示されている。

同留保地は市内に残る大規模な土地であり、利用計画が円滑に進むことは市全体の住民福祉の向上に大変重要であるが、米軍府中通信施設が土地利用の重大な阻害要因となっていることから、同施設の返還、移譲が強く望まれる。

よって、本市議会は国会及び政府に対し、同計画を進めるに当たり、米軍府中通信施設の早期の返還と、返還後の速やかな移譲を求める。

人事議案

定例会最終日の本会議に市長から人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が提出され、次の方が同意されました。

■人権擁護委員候補者

大柳 敏浩 氏（53歳）

須山議員が辞職

令和3年6月21日に、須山たかし議員（府中市議会市民フォーラム）から一身上の理由で辞職したいとの申出があり、許可されました。

同議員は、平成23年に初当選し、副議長、文教委員会委員長及び基地跡地対策・基地等跡地対策の各特別委員会委員長を歴任しました。